

40 地域紛争と民族問題

講師：藤井 剛

学習のねらい 東西冷戦の終結を背景に、地域紛争や民族紛争が増えています。今回は、そのような紛争の中で、新聞やニュースに取り上げられることが多いパレスチナ紛争を取り上げて、紛争の原因や背景、その解決策について考えてみましょう。

【ポイント1】 紛争解決への架け橋

- 「パレスチナ」とは、「中東」にあるシリアとエジプトとの中間、に面した東海岸一帯の地方をさす地名のこと。面積は日本の本州より少し広い程度。
- 「パレスチナ紛争」とは、ユダヤ人中心の国家であるイスラエルとパレスチナ在住のアラブ人であるパレスチナ人との間の紛争を指す。

【ポイント2】 パレスチナ問題とは

(1) パレスチナ紛争の歴史 ～第二次世界大戦まで～

- ① 約1900年前、ローマ帝国により、などへのユダヤ人の立ち入りが禁止され、多くのユダヤ人は各地へちりぢりになる。
- ② 特にヨーロッパでは、ユダヤ人は差別や迫害の対象となり、19世紀末に、「パレスチナの地に故郷を再建しよう」という「」がおきる。

(2) パレスチナ紛争の歴史 ～現在までの紛争の歴史～

- ① 第二次世界大戦後、ユダヤ人がパレスチナへ移住し始めた。そこで、長くパレスチナに住んでいたアラブ人＝パレスチナ人と土地を巡る争いが起きた。
- ② その紛争解決のため、国連総会でパレスチナ分割決議が可決されたが、ユダヤ側に有利だったためパレスチナ側が拒絶した。
- ③ ユダヤ人がイスラエルの建国を一方的に宣言したため、周りのアラブ諸国がイスラエルを攻撃し、第一次中東戦争が起きる。
- ④ 第一次中東戦争はイスラエルが勝利したが、70万人以上のが生まれた。

⑤パレスチナ難民が、奪われた土地を取り返すために組織したものが、であり、イスラエルと、無数の衝突を引き起こした。

(3) パレスチナ紛争の歴史 ～和平への歩み～

①第一次オイルショック後、「中東」の安定を望んだ国々を仲介として、和平交渉が行われるようになる。

②2003年に「」と呼ばれる中東和平案が発表されたが、「報復の連鎖」により中断。その後和平は進展したものの、現在、再び暗礁に乗り上げている。

【ポイント3】 紛争から共存へ

パレスチナ紛争の解決策としては、①「報復の連鎖」を止めること。②「」の道を探ること。③「交流」を行うことなどがあげられる。

また、③の「交流」の試みとして、パレスチナとイスラエルの子どもたちによるサッカー大会、農業や商業の技術交流などが行われている。

■今回のキーワード■

- 共存 地中海 パレスチナ難民 ロードマップ シオニズム
エルサレム パレスチナ解放機構